

自らの生き方を切り拓く
基盤となる資質・能力の育成

～ふるさとに学ぶ小中9年間を見通した探究的な学習をとおして～

安芸太田町立加計中学校区

- 1 はじめに
- 2 昨年度から
- 3 今年度の取組
- 4 成果と課題
- 5 今後の取組



児童・生徒の実態

【強み】



・素直さ

(言われたことは、まじめに取り組む)

・思いやり

(受容力, 人のことを気にかける, 他人肯定力, 助け合い, 人へのフォローなど)

【弱み】



・自分で考えて動く力

(先のことを考えて動く力, 先を見て自分で考えて動く力)

・やり抜く力

(粘り強さ, 耐える力, あきらめない力, 忍耐力, 面倒くさがらずにやり切るなど)

・基礎学力の定着

1 昨年度から

- 子どもたちが苦勞し，失敗から学ぶ
- 子どもたちが自分の言葉で活動を語る
- 自己の変容に気づける足跡・評価

2 今年度の取組

単元構想の工夫

- ◎児童・生徒発信の単元開発
- ◎地域・人とのつながり
- ◎教師の適切なファシリテート

評価方法の工夫

- ◎ゴールだけでなく、過程も評価
- ◎いつでも振り返ることができる (ICT の活用)



小中連携の工夫

- ◎学期に1回小中合同研修会実施
- 中→小へ実践発表・交流，小・中授業研究の参加，校種・学年を越えたグループ協議
- ◎Google Classroomを活用した情報共有，連絡
- 小中同じ内容のアンケート実施，授業参観や小・中交流のスケジュール管理・連絡

単元構想の工夫

- ◎児童・生徒発信の単元開発⇒児童・生徒によるゴールの設定
- ◎地域・人とのつながりを！
- ◎教師のファシリテートを強く意識！

2 今年度の取組

単元構想の工夫

- ◎児童・生徒発信の単元開発
- ◎地域・人とのつながり
- ◎教師の適切なファシリテート

評価方法の工夫

- ◎ゴールだけでなく、過程も評価
- ◎いつでも振り返ることができる (ICTの活用)



小中連携の工夫

- ◎学期に1回小中合同研修会実施
- 中→小へ実践発表・交流，小・中授業研究の参加，校種・学年を越えたグループ協議
- ◎Google Classroomを活用した情報共有，連絡
- 小中同じ内容のアンケート実施，授業参観や小・中交流のスケジュール管理・連絡

評価方法の工夫

- ◎ゴールの評価よりも，過程の評価
- ◎いつでも振り返ることができる (ICTの活用)



総合的な学習の時間 授業振り返りシート

振り返りたい項目・内容	
【考える】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・積極的に学習に取り組むことができる 主体的・積極的に学習に取り組むことができる
【求める】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・積極的に学習に取り組むことができる 主体的・積極的に学習に取り組むことができる
【やりぬく】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・積極的に学習に取り組むことができる 主体的・積極的に学習に取り組むことができる

授業日	出席	学習成果	本時の授業で学んだこと、気づき、疑問点等	本時で身についた学習能力(10-1級)
1	6/11/20	SDGsを知る	SDGsの意義や目標について学ぶことができた。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
2	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
3	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
4	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
5	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
6	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
7	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③
8	6/11/20	SDGsを身近な生活から学ぶ	SDGsの目標は17つあることがわかった。SDGsの目標は17つあることがわかった。	①、②、③

2 今年度の取組

単元構想の工夫

- ◎児童・生徒発信の単元開発
- ◎地域・人とのつながり
- ◎教師の適切なファシリテート

評価方法の工夫

- ◎ゴールだけでなく、過程も評価
- ◎いつでも振り返ることができる (ICT の活用)



小中連携の工夫

- ◎学期に1回小中合同研修会実施
- 中→小へ実践発表・交流，小・中授業研究の参加，校種・学年を越えたグループ協議
- ◎Google Classroomを活用した情報共有，連絡
- 小中同じ内容のアンケート実施，授業参観や小・中交流のスケジュール管理・連絡

小中連携の工夫

◎学期に1回小中合同研修会実施

◎Google Classroomを活用した情報共有，連絡



実践例1 加計小5年「太田川のまわり 加計小5年調査隊」



JOCA × 3代表(月ヶ瀬温泉)に会う



インタビュースキルを身に付ける!



学校周辺の興味関心を出し合い、自分たちで探究テーマ決定!!



月ヶ瀬温泉(JOCA × 3)
調べ隊

河川敷の活用
方法考え隊

太田川の水
を飲み隊

太田川河川敷
環境問題考え隊

それぞれのグループでゴールの設定

地域のために頑張っている人がたくさんいるということに気づき、自分もその力になることができないかと考えることができる!!



実践例2 加計中2年「働くことの意義」

働くとはなんだろう？



「なぜ働くの？」

宝くじが当たったら働くことをやめる？



安芸太田町で働く人、身近な人へインタビュー活動



自分たちの将来は？



いろいろな人の生き方を調べてみよう



私の将来の夢 作文

自己の将来をよりよいものにするため、今自分たちにできることを考え、実践していく!!

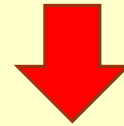


4 成果と課題

①小学校・中学校に共通する成果

子どもたちの**興味・関心**に基づく**探究活動**に！

- ・ 地域の人とつながり，交流
- ・ 子どもたちの考えるテーマ，ゴール
- ・ 相手を意識した表現の工夫，発表の場



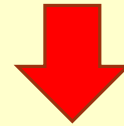
自分事として捉え，主体的な活動に！

4 成果と課題

②小・中連携の成果

共通理解をはかり，単元開発を！

- 学年を越えてのグループ協議
- 教師の引き出し不足解消
- 探究活動への意欲向上



共に考え共有し，よりよい活動内容に！

4 成果と課題

③課題

準備に時間をかけすぎた
ゴールまで最短距離ですすまない
→どこまで寄り道を**見守る**か

活動の流れが停滞することによる

意欲の低下

「もっと考えてみたい」

「もっと調べてみたい」

「もっと工夫したい」が出せる工夫！



児童・生徒主体だからこそ、スケジュール管理を！

5 今後に向けて

学びを**想定**し、
適切な**ファシリテート**を！！
視点を広げ、
次につながる探究活動を！

